



予定される新しい日本銀行券の発行を契機に国立印刷局と包括連携協定を締結し、渋沢栄一ゆかりの地や区内の観光スポット等に仕掛けたヒントを頼りに宝箱を探し出す「謎解きスタンプラリー」を開催するなど、本区の魅力を知ってもらうことで観光振興を図っていきます。

### 高齢者など誰もが支えあふ社会づくり

### 高齢者施設・障害者施設の充実

一人ひとりの尊厳が守られ、地域でともに支えあい、誰もが笑顔で安全に暮らせるまちの実現に向けて、「江東区地域福祉計画」に基づき、地域・関係機関などのさらなる連携・協働を推進してまいります。

まず、高齢者施策では、亀戸九丁目都有地を活用し、区内16か所目となる特別養護老人ホーム並びに都市型軽費老人ホーム、介護専用型ケアハウスの整備を進めます。障害者施策では、区内初となる障害者入所施設が本年4月に開所します。住み慣れた江東区で安心して暮らせる環境づくりを進めていきます。医療的ケア児への支援では、保育園や幼稚園、きつずクラ

ブにおいても医療的ケア児の受け入れを開始するとともに、必要な情報を一元的に記載したガイドブックを作成します。



▲特別養護老人ホーム外観イメージ

### 妊産婦やごどもへの支援の充実

妊娠出産の支援では、まず、国の「出産・子育て応援交付金」を活用し、令和4年4月1日以降に出産した産婦等に対して、総額10万円相当の「出産・子育て応援ギフト」を支給します。ゆりかご面接、新生児・産婦訪問指導後に、それぞれ5万円相当のギフトを支給することで、経済支援と相談支援の両面から、すべての妊産婦の方が安心して出産・子育てができる環境を整備してまいります。

さらに、区民の利便性および面接率の向上を図るため、豊洲特別出張所において妊婦に対するゆりかご面接を開始します。予防接種については、50歳以上の区民に対する带状疱疹

ワクチンの接種費用の一部助成を開始します。

### 防災都市江東戦略

### 新・防災都市江東元年

関東大震災から100年の節目を迎える本年、首都直下地震への備えはもとより、大規模水害対策も含めた防災対策について、いざという時に区民の生命・安全を守るため、改めて見直し、強化すべき時を迎えています。そのため、令和5年度を「新・防災都市江東元年」と位置づけ、防災対応力の一層の向上を図ってまいります。

まず、昨年5月に公表された首都直下地震等の新たな被害想定を踏まえ、本年10月を目途に「江東区地域防災計画」を改定します。併せて、「江東区事業継続計画」の改定や避難所開設運営に特化した実践的な訓練の実施などにより、区の防災力の底上げを図ってまいります。

大規模水害時の緊急避難先としての民間マンション活用に向けた協定締結の促進や、防災カタログギフトの全戸配付、火災危険度の高い地域を

### 自助・共助の取り組みを推進

自助・共助の取り組みを推進してまいります。

対象とした感震ブレイカーの配付など自助・共助の取り組みを推進してまいります。



▲防災カタログギフトを全世帯へ配付

### 住まいの安全性向上に向けて

マンション対策として、今年度改定する「江東区マンション建設方針」に基づき、現下の課題であるワンルームマンションや浸水対策、持続可能性向上に重点を置いて建設を誘導するとともに、「江東区マンション管理適正化推進計画」の策定を進め、マンション管理水準の向上を図ってまいります。

木造住宅密集地域への不燃化の促進については、北砂三・四・五丁目地区において、防災性の向上と住環境の改善を図るため、防災生活道路および不燃化小規模空地の整備を進めてまいります。

老朽化する戸建て住宅等への対応については、来年度、「江東区老朽空家等対策計画」

を策定し、総合的かつ計画的に対策を実施してまいります。

### オリンピック・パラリンピックレガシーの継承

レガシー施設を活用し健康づくりを促進

本区出身の堀米雄斗選手が、オリンピックで金メダルを獲得したことを契機としたスケートボードへの関心の高まりを受け、昨年11月に夢の島総合運動場内にスケートボードパークを開設しました。誰もが安全にスケートボードを楽しめる初級・中級者向けの施設として整備し、多くの利用者から好評をいただいています。今後は、他のレガシー施設も有効活用し、スポーツを通じた区民の健康づくりの促進や、こどもたちの体力向上を積極的に進めてまいります。



▲夢の島スケートボードパーク

### 臨海部のまちづくり

### 夢のあるまちづくりを推進

本区の臨海部は、東京2020大会のレガシー施設を含め、豊洲、有明などで大規模な開発が続くとともに、海の森では新たなパークエリアの整備が進められるなど、今後まちづくりに影響を与える著しい変化が続いていくことが想定されます。都市計画マスタープランにおいては、「未来の臨海部のまちづくり」を重点戦略に掲げ、スポーツ、テクノロジー、自然が共生する湾岸軸を形成することとしています。そこで、臨海部の都市交通のあり方を示すビジョンを策定し、関係機関や交通事業者等と共有することで、臨海部へのアクセス性や回遊性の向上を図るなど、ベイエリアの魅力を最大限活かした夢のある将来のまちづくりを進めてまいります。



▲開発が進む臨海部

### 長期計画の実現に向けて

### 安全・安心と支えあいを実感できる江東区を目指して

誰もがデジタルの恩恵を受けられる社会の実現を目指し、「江東区情報化推進プラン」に基づき、オンライン申請の拡充など、ICTを活用した区民サービスを一層向上させるとともに、先端技術の活用による効果的・効率的な行政運営を図り、本区のDXを、より一層推進してまいります。また、「江東区行財政改革計画」を着実に推進しつつ、外部評価を活用した事務事業の見直しや、新たな施策の創出などを通じ、長期計画の着実な推進を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの見直しにより、今後、あらゆる面でウィズコロナへの転換が加速していくことが想定されます。原油価格・物価高騰など、区民生活の日常回復への懸念材料もありますが、これらにもしっかりと対応し、区民の誰もが安全・安心と支えあいを実感できる江東区づくりにまい進し、区民の負託と信頼に、意欲・スピード・思いやりを持って応えてまいります。

凡例 時日時 場所 集合 対象・定員 費用 内容 講師 保一時保育 縮切日 申込 問合先 HPホームページ Eメール